

持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果（2024年7～9月期）

（前回）持ち直しの動きに弱さがみられる生活衛生関係営業の景況

<業況判断DI>（2ページ）

- 業況判断DIは、前期から10.0ポイント低下し、▲5.3となった。
- 来期は3.9ポイント上昇し、▲1.4となる見通し。

<売上DI>（3ページ）

- 売上DIは、前期から6.7ポイント低下し、4.6となった。
- 来期は2.1ポイント上昇し6.7となる見通し。

<採算DI>（4ページ）

- 採算DIは、前期から0.7ポイント低下し、1.1となった。

<経営上の問題点>（9、10ページ）

- 経営上の問題点は、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」が53.6%と最も多く、次いで、「顧客数の減少」（37.7%）、「店舗施設の狭隘・老朽化」（21.3%）の順となった。

※ 11ページ以降に業種ごとの業況判断理由を掲載しています。そのほか、本調査で収集した「経営取り組み事例」を日本公庫ホームページに掲載しています（https://www.jfc.go.jp/n/findings/seikatu_kekka_m_index.html）。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 生活衛生融資部 生活衛生情報支援グループ TEL03-3270-1653（担当：和知、青木）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

【調査の実施要領】

調査時点	2024年9月中旬		
調査方法	訪問調査		
調査対象	生活衛生関係営業 3,290 企業		
有効回答企業数	3,142企業（回答率 95.5%）		
（業種内訳）	飲食業	1,444 企業	映画館 59 企業
	食肉・食鳥肉販売業	153 企業	ホテル・旅館業 180 企業
	氷雪販売業	56 企業	公衆浴場業 106 企業
	理容業	422 企業	クリーニング業 261 企業
	美容業	461 企業	

【本調査における留意事項】

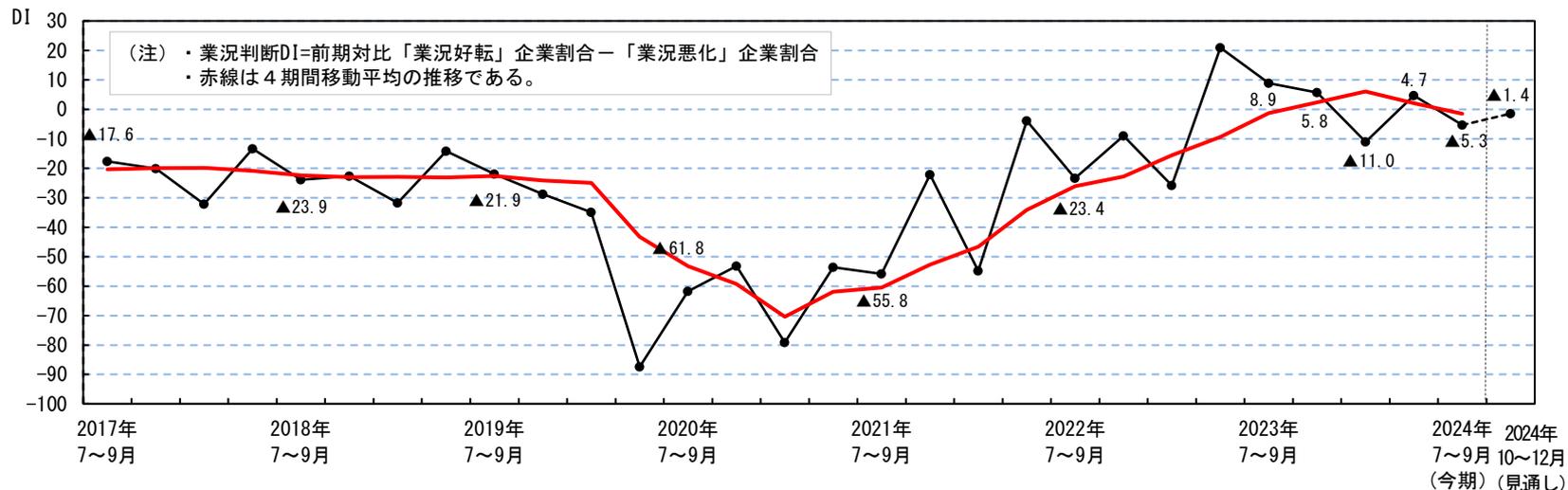
- 比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

I 景気の動向

1. 業況判断

- 業況判断DIは、前期から10.0ポイント低下し、▲5.3となった。
- 来期は3.9ポイント上昇し、▲1.4となる見通し。

図表1 業況判断DIの推移（全業種計）



図表2 業種別 業況判断DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)	2024年 10~12月 (見通し)
食肉・食鳥肉	▲1.3	2.6	▲13.4	0.6	▲12.4	▲2.0
氷雪	61.1	▲5.5	▲24.5	19.3	41.1	▲5.4
理容	▲2.6	▲18.1	▲25.5	▲5.2	▲10.4	▲8.8
美容	▲7.4	▲13.5	▲20.5	▲9.3	▲13.0	▲6.7
映画館	▲15.8	▲29.5	▲8.2	▲27.6	0.0	▲15.3
ホテル・旅館	45.9	38.5	▲6.7	27.1	15.6	8.9
公衆浴場	▲7.2	13.4	12.8	▲10.6	▲23.6	▲4.7
クリーニング	▲21.1	9.2	▲39.1	22.2	▲31.4	▲3.8

図表3 飲食業 業況判断DIの推移

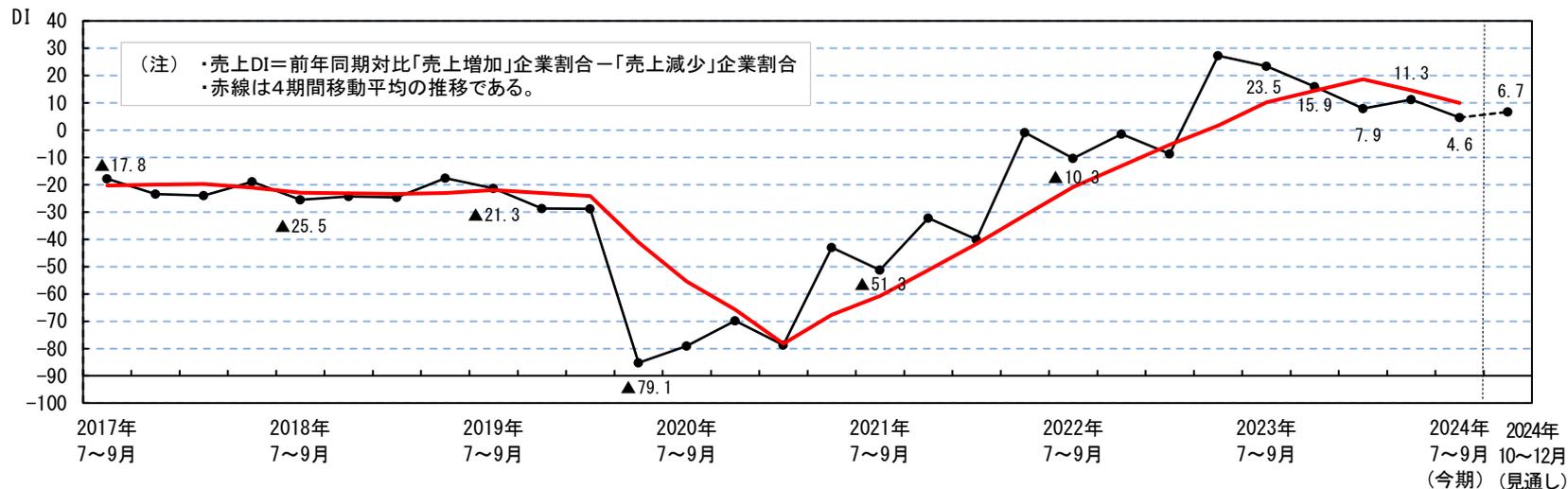
凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)	2024年 10~12月 (見通し)
飲食業(全体)	19.4	15.9	▲0.1	8.3	1.0	2.7
そば・うどん	24.6	6.3	▲7.1	16.2	10.4	▲5.5
中華料理	14.5	14.5	6.9	8.0	13.6	2.6
すし	15.6	13.9	▲11.2	2.7	1.7	▲1.1
料理	29.3	42.3	13.1	12.2	▲3.1	10.8
喫茶	18.2	11.8	1.3	7.3	▲4.6	5.2
社交	8.3	▲5.9	▲5.6	▲4.1	▲12.3	2.6
その他飲食	23.1	25.5	3.1	11.8	1.3	4.5

※ 表中の網掛けは、全業種計の割合を上回るものを表す(以下同じ)。

2. 売上

- 売上DIは、前期から6.7ポイント低下し、4.6となった。
- 来期は2.1ポイント上昇し、6.7となる見通し。

図表4 売上DIの推移（全業種計）



図表5 業種別 売上DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)	2024年 10~12月 (見通し)
食肉・食鳥肉	13.4	13.6	14.7	18.7	7.8	12.4
氷雪	64.8	45.5	▲1.9	14.0	35.7	16.1
理容	0.7	▲7.6	▲12.8	▲5.3	▲3.6	▲2.4
美容	▲3.9	▲15.5	▲4.1	▲8.5	▲11.3	▲3.0
映画館	▲7.0	▲19.7	▲16.4	▲17.2	▲15.3	▲11.9
ホテル・旅館	59.0	54.3	22.3	37.2	19.4	14.4
公衆浴場	5.4	12.5	26.6	5.8	▲6.6	▲3.8
クリーニング	8.0	17.7	▲21.7	11.9	▲2.3	▲0.8

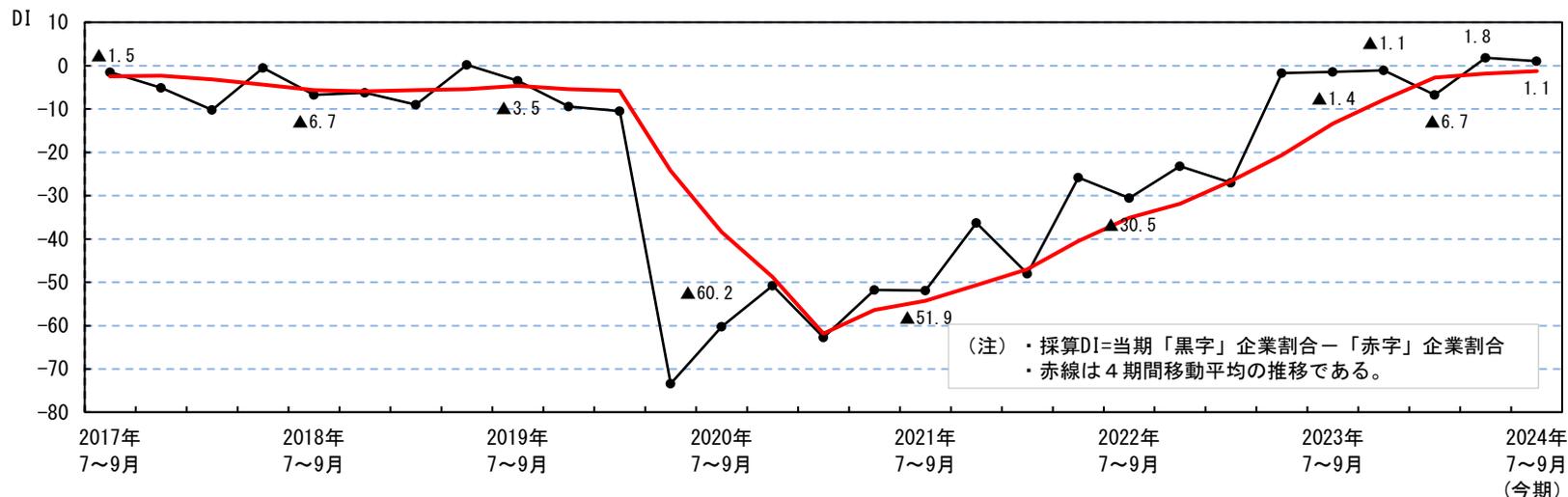
図表6 飲食業 売上DIの推移

凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)	2024年 10~12月 (見通し)
飲食業(全体)	39.0	28.7	20.7	19.5	11.5	13.3
そば・うどん	46.2	33.0	22.7	24.5	29.1	18.1
中華料理	38.8	27.6	26.9	24.8	15.6	13.0
すし	36.1	26.7	5.6	9.3	6.1	8.3
料理	36.6	48.8	30.3	18.1	4.6	19.2
喫茶	32.7	26.8	21.1	15.4	8.5	13.1
社交	32.7	3.0	13.3	6.2	▲0.5	8.7
その他飲食	43.1	34.9	24.4	27.4	13.5	13.9

3. 採算

○ 採算DIは、前期から0.7ポイント低下し、1.1となった。

図表7 採算DIの推移（全業種計）



図表8 業種別 採算DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月 (今期)
食肉・食鳥肉	6.7	11.6	18.5	16.8	11.8
水 雪	27.8	16.4	▲ 32.1	▲ 3.5	28.6
理 容	5.3	▲ 0.7	0.9	4.3	7.6
美 容	▲ 7.7	▲ 8.9	▲ 9.9	▲ 4.6	▲ 5.2
映 画 館	▲ 15.8	▲ 36.1	▲ 31.1	▲ 13.8	▲ 25.4
ホテル・旅館	16.4	22.4	▲ 10.6	12.7	10.6
公衆浴場	▲ 3.6	4.5	14.7	2.9	5.7
クリーニング	▲ 8.4	0.8	▲ 27.1	14.9	▲ 5.4

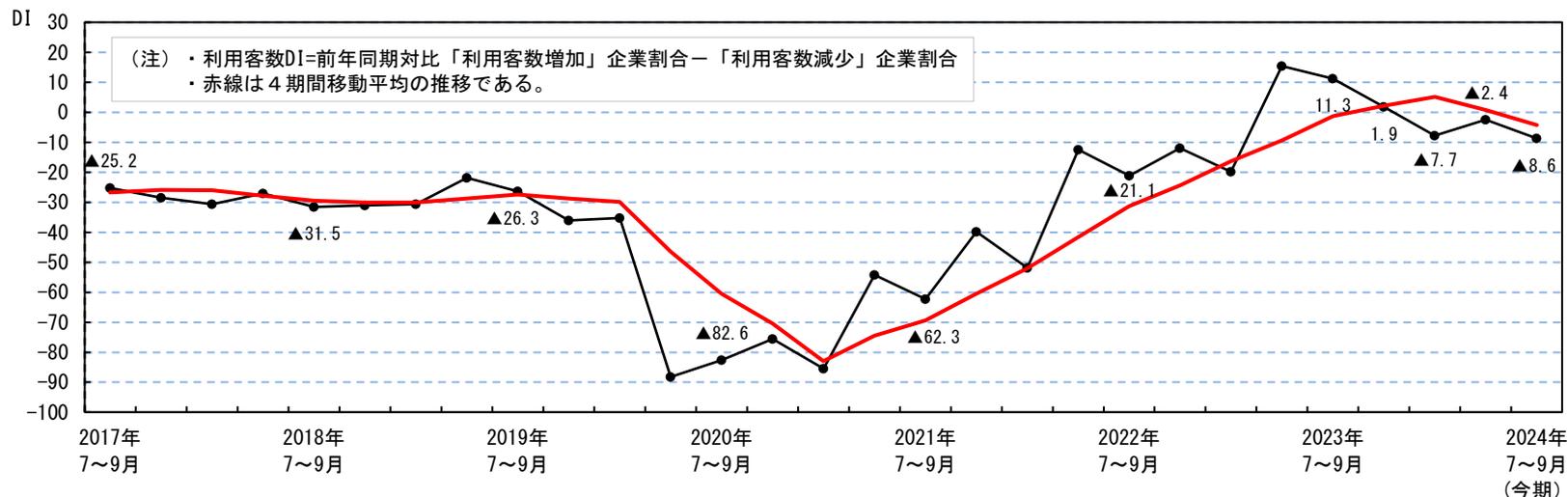
図表9 飲食業 採算DIの推移

凡例	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月 (今期)
飲食業(全体)	▲ 3.6	▲ 2.8	▲ 6.2	▲ 1.4	▲ 0.3
そば・うどん	10.9	4.7	▲ 2.7	2.2	19.1
中華料理	2.0	2.6	▲ 6.2	10.7	11.0
す し	▲ 3.9	▲ 8.3	▲ 10.7	▲ 7.1	1.7
料 理	▲ 12.2	2.4	▲ 2.5	▲ 5.0	▲ 11.5
喫 茶	▲ 1.3	▲ 13.7	▲ 12.5	▲ 3.3	▲ 10.5
社 交	▲ 23.8	▲ 26.2	▲ 17.3	▲ 14.8	▲ 18.5
その他飲食	▲ 0.4	7.2	0.2	3.1	1.6

4. 利用客数

○ 利用客数DIは、前期から6.2ポイント低下し、▲8.6となった。

図表10 利用客数DIの推移（全業種計）



図表11 業種別 利用客数DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)
食肉・食鳥肉	▲12.1	▲5.8	▲7.7	▲1.3	▲17.0
水雪	44.4	12.7	▲20.8	▲1.8	14.3
理容	▲12.3	▲25.8	▲22.7	▲15.8	▲15.0
美容	▲16.6	▲30.1	▲25.8	▲24.5	▲24.6
映画館	▲1.8	▲19.7	▲18.0	▲34.5	▲15.3
ホテル・旅館	50.3	38.7	5.6	21.1	1.7
公衆浴場	▲1.8	3.6	8.3	▲1.0	▲17.9
クリーニング	▲7.7	▲7.3	▲36.8	▲5.4	▲19.9

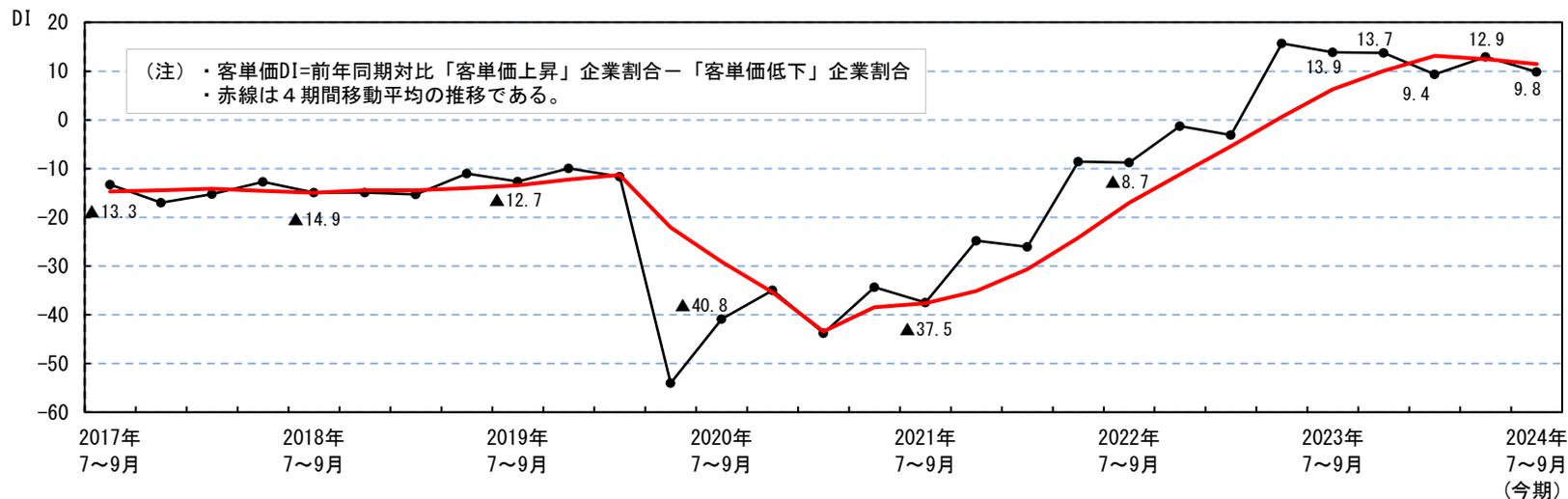
図表12 飲食業 利用客数DIの推移

凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)
飲食業(全体)	28.0	18.5	5.9	7.0	0.1
そば・うどん	37.9	15.7	4.4	16.3	12.1
中華料理	22.4	19.7	12.4	11.4	9.7
すし	23.3	13.3	▲8.4	▲1.1	▲7.8
料理	30.1	37.4	13.1	7.2	▲5.4
喫茶	20.3	10.5	▲2.0	2.0	▲11.1
社交	13.2	▲3.0	▲1.0	▲3.1	▲9.2
その他飲食	36.7	28.8	13.9	11.0	4.5

5. 客単価

○ 客単価DIは、前期から3.1ポイント低下し、9.8となった。

図表13 客単価DIの推移（全業種計）



図表14 業種別 客単価DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)
食肉・食鳥肉	▲ 1.3	1.3	4.5	1.9	▲ 9.2
水 雪	38.9	18.2	▲ 1.9	▲ 1.8	12.5
理 容	1.7	▲ 0.7	▲ 2.6	1.9	0.5
美 容	▲ 1.1	1.3	1.5	▲ 2.0	▲ 2.4
映 画 館	19.3	24.6	24.6	22.4	5.1
ホテル・旅館	53.6	53.2	36.9	48.3	42.8
公衆浴場	13.5	19.6	19.3	6.7	▲ 0.9
クリーニング	0.0	▲ 0.4	▲ 15.1	10.7	▲ 6.5

図表15 飲食業 客単価DIの推移

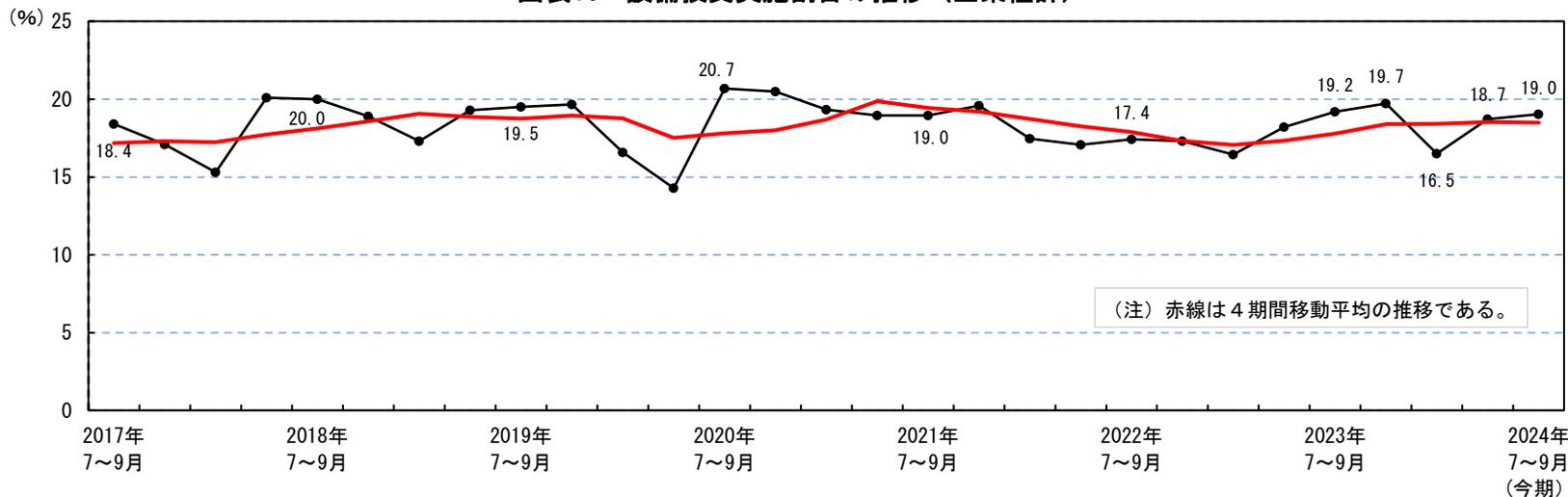
凡例	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (今期)
飲食業(全体)	20.0	19.9	16.0	18.6	18.2
そば・うどん	33.0	29.8	24.9	23.4	29.7
中華料理	23.0	21.1	6.9	24.2	23.4
す し	13.3	16.1	9.6	17.0	13.3
料 理	24.4	37.4	29.5	26.1	16.9
喫 茶	26.1	19.0	16.4	16.1	16.3
社 交	1.5	▲ 6.0	3.1	2.6	11.8
その他飲食	21.6	24.0	19.7	20.8	17.5

II 設備投資の動向

1. 設備投資の実施状況

○ 今期（2024年7～9月）に設備投資を行った企業の割合は、前期から0.3ポイント上昇し、19.0%となった。

図表16 設備投資実施割合の推移（全業種計）



図表17 業種別 設備投資実施割合の推移（飲食業を除く）

(%)

凡例	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月 (今期)
食肉・食鳥肉	32.7	34.2	29.3	31.6	32.0
氷雪	5.6	10.9	7.5	17.5	10.7
理容	10.3	9.3	8.5	12.4	12.6
美容	10.9	14.8	10.8	11.3	9.8
映画館	36.8	36.1	34.4	32.8	28.8
ホテル・旅館	45.9	48.3	46.7	49.2	49.4
公衆浴場	39.6	40.2	37.6	44.2	41.5
クリーニング	18.4	18.1	14.7	16.1	17.2

図表18 飲食業 設備投資実施割合の推移

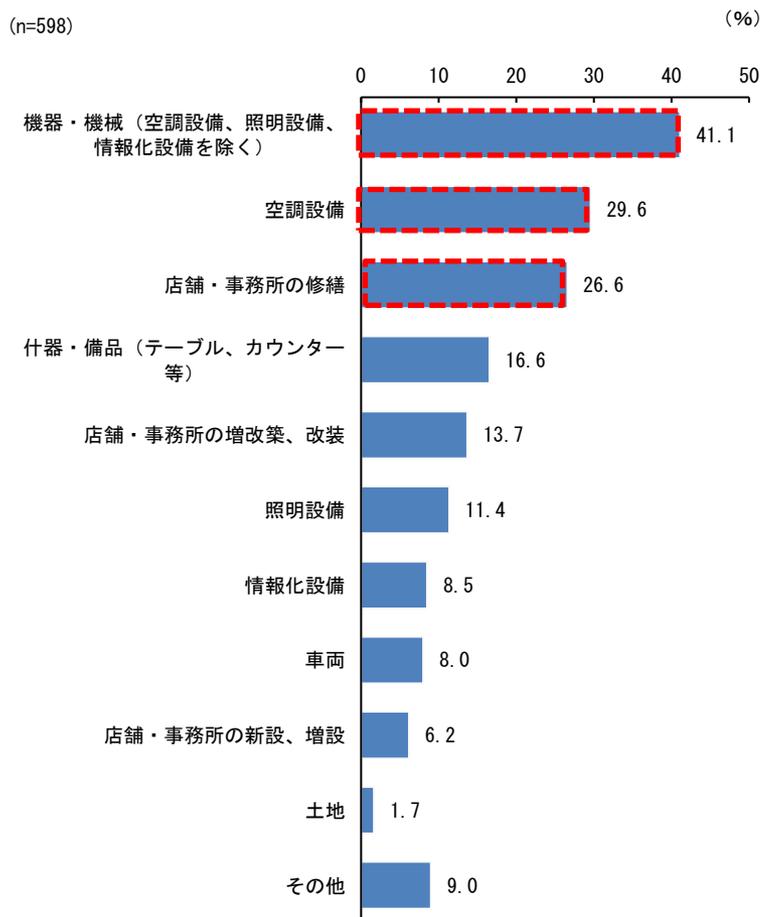
(%)

凡例	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月 (今期)
飲食業(全体)	18.0	17.7	13.8	15.9	17.3
そば・うどん	23.5	17.7	16.5	17.3	18.6
中華料理	17.8	16.4	10.3	16.7	18.2
すし	17.2	19.4	12.4	19.2	18.9
料理	22.0	26.0	19.7	21.6	23.8
喫茶	13.0	12.4	11.8	12.0	17.0
社交	13.6	11.9	9.7	7.1	7.2
その他飲食	18.7	19.6	15.2	17.0	18.5

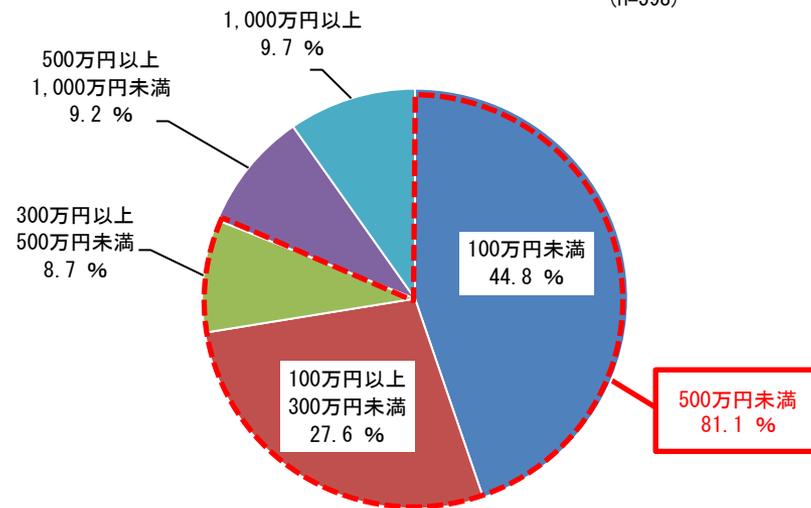
2. 設備投資の内容、設備投資金額、来期の設備投資計画

- 今期（2024年7～9月）の設備投資の内容は、「機器・機械（空調設備、照明設備、情報化設備を除く）」が41.1%と最も多く、次いで、「空調設備」（29.6%）、「店舗・事務所の修繕」（26.6%）の順となった。
- 今期の設備投資金額は、500万円未満が全体の8割超を占めた。
- 来期（2024年10～12月）の設備投資計画については、「実施予定あり」が12.7%となった。

図表19 設備投資の内容
(全業種計、複数回答(金額の大きい順に3つ以内))



図表20 設備投資金額(全業種計)
(n=598)



図表21 業種別 来期の設備投資実施予定割合
(飲食業を除く) (%)

凡例	2024年 10～12月期の予定
全業種計	12.7
食肉・食鳥肉	21.6
氷雪	10.7
理容	6.6
美容	6.5
映画館	28.8
ホテル・旅館	33.9
公衆浴場	29.2
クリーニング	11.1

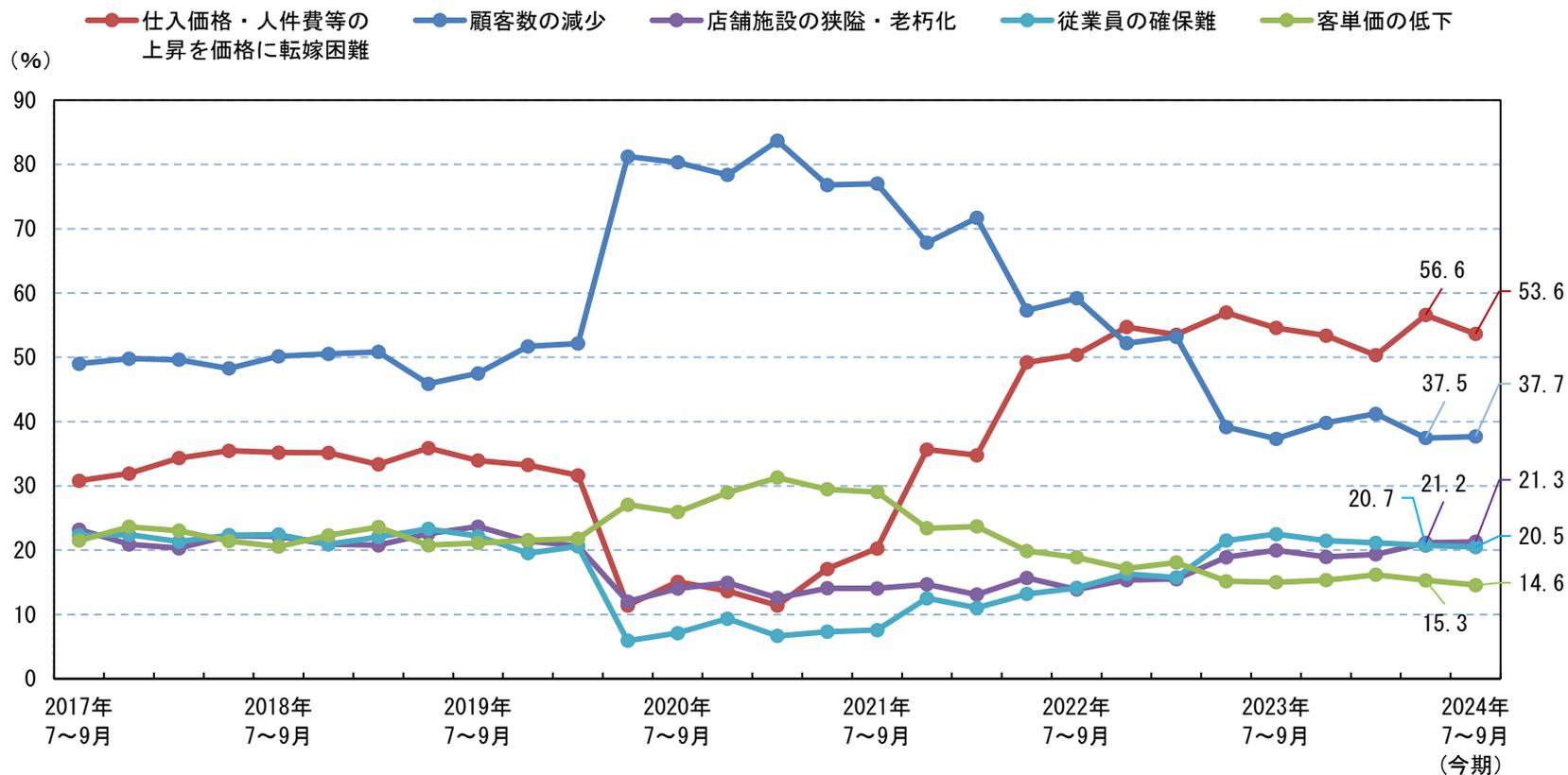
図表22 飲食業 来期の設備投資実施予定割合
(%)

凡例	2024年 10～12月期の予定
飲食業(全体)	11.4
そば・うどん	14.2
中華料理	11.0
すし	11.1
料理	17.7
喫茶	8.5
社交	8.2
その他飲食	11.1

Ⅲ 経営上の問題点

○ 経営上の問題点は、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」が53.6%と最も多く、次いで、「顧客数の減少」(37.7%)、「店舗施設の狭隘・老朽化」(21.3%)の順となった。

図表23 主な経営上の問題点の推移（全業種計、複数回答（2つ以内））



図表24 業種別 主な経営上の問題点（2024年7～9月）

(%)

項目	仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難	顧客数の減少	店舗施設の狭隘・老朽化	従業員の確保難	客単価の低下	後継者難	事業資金借入難	その他	特に問題なし
全業種計	53.6	37.7	21.3	20.5	14.6	6.7	3.4	4.1	7.6
飲食業(全体)	69.0	32.3	16.8	24.2	12.1	6.6	4.1	3.5	4.4
そば・うどん	71.0	27.3	22.4	25.7	7.7	10.4	2.2	2.2	4.4
中華料理	71.4	20.1	21.4	22.1	13.0	8.4	5.2	5.2	3.2
すし	65.0	27.8	18.3	18.3	12.2	9.4	3.3	1.7	10.6
料理	63.1	29.2	23.8	33.1	12.3	3.8	5.4	3.1	3.1
喫茶	73.2	37.3	15.0	17.0	12.4	5.9	3.3	3.9	3.9
社交	60.0	56.4	5.6	25.1	15.9	4.6	2.6	4.1	1.5
その他飲食	73.3	29.2	15.6	26.3	11.8	5.1	5.3	3.8	4.2
食肉・食鳥肉	60.1	24.8	22.9	25.5	20.9	2.6	2.6	4.6	5.2
氷雪	39.3	23.2	19.6	19.6	10.7	23.2	3.6	14.3	8.9
理容	30.8	46.9	19.4	10.2	17.3	7.6	1.9	4.3	17.3
美容	31.0	52.3	15.0	14.8	20.4	7.2	2.6	5.2	13.0
映画館	37.3	52.5	49.2	13.6	1.7	5.1	5.1	3.4	3.4
ホテル・旅館	56.1	20.0	40.6	48.9	1.7	6.1	5.0	2.2	3.3
公衆浴場	37.7	35.8	62.3	5.7	5.7	11.3	2.8	4.7	6.6
クリーニング	52.9	46.7	24.1	11.9	26.1	2.3	2.3	4.2	5.7

(注) 複数回答（2つ以内）のため合計は100を超える。

Ⅳ 業況判断理由

今期：2024年7～9月 来期：2024年10～12月

(1) そば・うどん

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	石川県	猛暑により、単価の高い冷たいメニューの注文が多く売上が伸びた。
	不変	茨城県	客数は戻ってきているが、原材料費の値上がりを価格転嫁できておらず、業況は変わらない。
来期	不変	長野県	来期も観光客の来店が見込まれるが、諸経費も高騰する見通し。
	悪化	宮城県	原材料費・光熱費等が高騰しているため業況が悪化している。値上げしようにも、お客さまに納得してもらえないような価格設定が難しい。

(2) 中華料理

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	広島県	コロナ禍以前のような宴会や二次会、グループでの食事が増えている。
	悪化	秋田県	猛暑により、来店客数が減っている。
来期	好転	福岡県	暑さが和らげば人出は戻るだろう。観光客は増加しているので、好転が期待できる。
	不変	新潟県	客足は戻りつつあるが、仕入価格高騰の影響があるだろう。

(3) すし

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	静岡県	仕入価格が高騰しているが会社関係の接待需要は回復しており、客数増加・客単価上昇により、売上は順調に推移している。
	悪化	兵庫県	猛暑の影響で来店客数が減少している。また、仕入価格も高騰しており、業況は悪化している。
来期	好転	和歌山県	年末は例年需要が高まる時期であるため、当期より好転する見通し。
	悪化	岩手県	人件費や諸経費の上昇に売上が追い付いていかない。価格の見直しが必要な時期だと考えている。

(4) 料理

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	大阪府	来店客数は前年と変わらないが、10%程度値上げしたところ客単価が上昇し、利益率の改善につながった。
	悪化	愛媛県	人手不足で、十分に予約への対応ができない。
来期	好転	三重県	来期は涼しくなり、年末にかけて繁忙期になるため、好転することを期待している。
	悪化	新潟県	光熱費や物価の高騰により、外食を控えるお客さまが増えるだろう。

(5) 喫茶

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	宮城県	インバウンドを含む観光客が前年に比べ多くなった恩恵で、来店客数が増加した。
	悪化	佐賀県	コロナの感染者数増加や猛暑の影響で、消費行動が抑制されたため、収益は悪化している。
来期	不変	福島県	原材料費の高騰により価格転嫁を行ったため、客数の減少が懸念される。極端に業況が悪化することもないが、好転することもないだろう。
	悪化	茨城県	昨年値上げしたにも関わらず、原材料費の高騰が続いており厳しい状況。再度の値上げを検討しているが、客数の減少を懸念している。

(6) 社交

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	静岡県	コロナの影響は落ち着いているが、会社関係の利用が依然として少ないため、売上は伸びていない。
	悪化	兵庫県	人手不足により、お客さまを十分におもてなしすることができず、その分売上に繋がらない。
来期	好転	栃木県	天候不順が落ち着けば、忘年会シーズンでもあるので、好転が期待できる。
	悪化	長崎県	物価が高騰しており、上昇分を価格に転嫁できていない。

(7) その他飲食

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	福岡県	インバウンドは増えているが、連日の猛暑で常連客の来店が落ちているので、トータルでは収支トントン。
	悪化	愛媛県	物価高騰が続き消費者の節約志向が強い上に、仕入価格の上昇もあり、利益がほとんど出ない。
来期	好転	鹿児島県	来期は忘年会など飲食する機会が増えるため、期待している。
	不変	北海道	これ以上の値上げは困難なため、現状維持が精一杯。

(8) 食肉

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	宮崎県	売上は若干好転しているが、仕入価格の高騰により利益が圧迫されている。
	悪化	岐阜県	仕入価格の高騰が経営を圧迫している上に、猛暑により屋外でのバーベキュー等の機会が減り、売上も減少した。
来期	不変	秋田県	売上は戻ってきているが、物価高騰に販売価格が追い付かず、利益の増加は見込めない。
	悪化	栃木県	物価高騰により消費が冷え込んでいるため、更に業況は悪化するだろう。

(9) 食鳥肉

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	広島県	取引先が増え売上は伸びたが、運賃等の経費がかさみ、利益は変わらない。
	悪化	東京都	節約意識の高まりに加え、暑さにより消費意欲が減退し、業況は悪化した。
来期	好転	栃木県	例年どおり、年末は業況が好転することを期待している。
	悪化	鹿児島県	仕入価格の高騰に歯止めがかかる見通しが立たない。

(10) 氷雪

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	神奈川県	各種イベントがコロナ禍以前と同様に開催されるようになり、さらに猛暑の影響もあって、氷の需要が増加し業況は好転した。
	不変	東京都	飲食店からの注文は増えているが、連日の猛暑とゲリラ豪雨により人出が少なく、想定していたほどイベント関係の発注数が伸びなかった。
来期	不変	富山県	例年ほぼ同じ受注内容で固定されているため、大きな変化はないだろう。
	悪化	和歌山県	来期は人が集まるイベントが少ないため、悪化することが見込まれる。

(11) 理容

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	長野県	猛暑の影響で、来店周期が短くなり回転率も上がった。
	不変	岡山県	幅広く物価が高騰しているため、値上げして利益のマイナス分をカバーしている。
来期	不変	大阪府	客数は頭打ちになっているが、価格を上げるのは難しいため、業況は変わらないだろう。
	悪化	青森県	来期も物価高騰が続き、お客さまの利用回数が減少することが想定されるため、業況は厳しい見通し。

(12) 美容

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	高知県	客足は回復傾向にある。また、白髪染めの利用が増えたことで来店サイクルが早まっており、業況は好転した。
	悪化	愛知県	人手不足により営業に支障がでている。
来期	好転	大分県	今期は猛暑日が続いたことで来店客数が減り、売上が伸びなかった。来期は気候が良くなるため客足が戻ることを期待している。
	悪化	京都府	コロナ禍での生活習慣の変化や物価高騰の影響などにより、来店周期の長期化や客数の減少傾向を感じている。

(13) 映画館

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	兵庫県	評判の高い上映作品に恵まれたため、観客数が増加した。
	悪化	香川県	オリンピックの放送や猛暑の影響でお客さまが外出を控えたことで、来館客数が減少した。
来期	不変	静岡県	光熱費や人件費の高騰は当面収まりそうにないため、現状維持が精一杯。
	悪化	東京都	来期は集客が期待できる作品が少ないことから、興行収入は当期を下回る見通し。

(14) ホテル・旅館

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	北海道	インバウンドが回復傾向にあり、特に韓国の団体ツアー客が好調である。宿泊単価も上昇し利益率が向上した。
	悪化	徳島県	南海トラフ地震臨時情報の発表に加え、台風に関する報道の影響もあり、宿泊のキャンセルが相次ぎ大幅に売上が減少した。
来期	好転	鳥取県	来期は秋の行楽シーズンであり、インバウンドの増加を期待している。
	不変	山形県	売上の増加以上に原材料費や経費が高騰し、利益を圧迫するだろう。

(15) 公衆浴場

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	岡山県	猛暑が続き高齢者が入浴を控える一方で、SNS等を見て訪れる旅行客もいて、一定の売上を確保している。
	悪化	京都府	猛暑の影響で、お客さまが来店を控えている。来店があっても、常連客のみで新規客は少ない。
来期	好転	富山県	気温が下がると客足が伸びるため、業況の好転を期待している。
	不変	兵庫県	来店客数が増加して売上が伸びた一方、光熱費・燃料費等の高騰により、利益率は低下したことから、収益は変わらないだろう。

(16) クリーニング

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	大分県	値上げに踏み切ったことにより売上は前年より増加したが、人件費や仕入価格の高騰などにより経費も増加しており業況は変わらない。
	悪化	千葉県	猛暑や台風などの影響で外出の機会が減り、売上が減少している。
来期	好転	香川県	夏物からの衣替えと、秋のお祭り衣装のクリーニング需要に期待している。
	不変	鳥取県	来期は秋冬物への衣替えシーズンだが、クリーニング需要自体が減少傾向にあるため、業況は横ばいだろう。